

「四期」の知っておくべきこと ～作曲家とその時代の音楽的語法～

「四期」と一言でいっても、大きな時代区分の中では、背景となる地域や年代が異なれば、作曲家の精神風土もそれぞれです。

例えばバッハでもベートーヴェンでもショパンでもドビュッシーでも、楽譜で示される記号自体は同じものですが、その表現（解釈）の仕方はまるで異なります。ですから、＜知っておくべきこと＞が楽譜の外側にたくさんあるのです。

各地でのセミナーが大好評を博している赤松先生をお迎えし、バロックから近現代に至る名曲を通して、その時代・その作曲家にあったアプローチを紹介していきます。



講師
赤松 林太郎 先生

2歳よりピアノとヴァイオリンを、6歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5歳の時に小曾根美氏や故・芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時には自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲を演奏。1990年全日本学生音楽コンクールで優勝して以来、国内の主要なコンクールで優勝を重ねる。1993年には仙台市教育委員会より平成5年度の教育功績者に表彰。1996年の第1回浜松国際ピアノアカデミーに参加。最終日のアカデミーコンクールにてファイナリストに選ばれる。

神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得(室内楽は全審査員満点による)。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をコーナ・パタルチェツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。

2000年に第3回クララ・シューマン国際ピアノコンクール(審査員にはマルタ・アルゲリッチやネルソン・フレイレなど)で第3位を受賞した際、Dr.ヨアヒム・カイザーより「聡明かつ才能がある」と評された。国際コンクールでの受賞は10以上に及ぶ。

デュッセルドルフ、パリ、ブダペストのヨーロッパ在住中より、数々の音楽祭やサイトルに出演。これまでの主な公演は、ニューヨーク、パリ、ローマ、デュッセルドルフ、ウィーン、ブダペスト、サンクトペテルブルク、ボゴダ、台北、別府アルゲリッチ音楽祭など10か国以上に及ぶ。2015年春にはドナウ宮殿にてドナウ交響楽団と共演。

日本では年間60回のコンサートを行い、東京交響楽団やロイヤル・メトロポリタンオーケストラなどと共演。NHK交響楽団や東京フィルハーモニー管弦楽団などのメンバーと室内楽も行い、多くの公開録音で音源(YouTube)に残している。2014年よりキング・インターナショナルから続々とCDリリース。300名以上の生徒を抱えており、国内外の主要なコンクールで多くの受賞者を輩出している。審査員やマスタークラスの講師はもちろん、エッセイストとして新聞や雑誌にも連載を持っている。「美しいキモノ」ではモデルも務める。全日本ピアノ指導者協会正会員、演奏研究委員。ピティナ指導者賞(2012年特級グランプリ・2014年特級銅賞など多数輩出)。2014年よりハンガリー国立リスト音楽大学のマスタークラス講師。

- 【バロック】様式について…スカルラッチェ・J.S.バッハなど
- 【古典】ソナタ形式と各作曲家…ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなど
- 【ロマン】歌うということ…シューベルトとシューマン、ショパン、リストなど
- 【近現代】ポスト・ワーグナーとしての響きの世紀

日 時: 2015年10月23日(金) 10:30-12:30

会 場: ナイトウハーモニーBOX

受講料: 一般 3,500円
 会員(ピティナ,FC,PEN,jet,PSTA) 3,300円
 ピティナ甲府支部会員 3,000円

【申込方法】

下記の申込書にご記入のうえ、お電話またはFAXにてお申込みください。

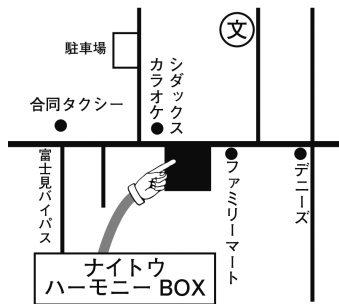
ピティナHPからのお申込みも可能です。
<http://www.piano.or.jp/seminar/list/>

【主催・お申込み・お問合せ先】

ピティナ 甲府支部

TEL:055-253-4711 FAX:055-252-7429

(営業時間 10:00-18:00 ※月曜日定休)



JR甲府駅よりタクシー8分

◆ 2015年10月23日(金) 赤松林太郎先生 講座申込書 ◆

氏名	種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 会員(ピティナ,FC,PEN,jet,PSTA) <input type="checkbox"/> ピティナ甲府支部会員
住所	〒	e-mail	
		TEL	()
		FAX	()